

【高等部の学習の様子⑦】

ICT機器を活用した、

「情報科の資質・能力」「情報活用能力」育成シリーズ④

先週、数学の時間を担当している教師が学校に不在でしたがリモートで数学の授業を行いました。

生徒全員がタブレット端末を使用して「異分母の分数の加法」の練習問題に取り組みました。教師がそれぞれの進捗状況を画面上で確認することもでき、状況によって個別に指導するなど学びが深まるようにしました。



【画面を2分割にして、
効率よく学ぶ生徒】



【全画面表示にして、生徒の
進捗状況を確認し、指導する】

また、「通分の仕方」を学ぶことを目的にしていることから、計算が困難な生徒には画面を分割して計算機機能を紹介され、その機能の扱い方を学び、取り組む様子が見られました。数学を学ぶ文脈の中で、計算等に関わった時のタブレット操作方法（2分割して取り組む方法）を学ぶなどの情報活用能力を育成することができました。

また、仮分数や帯分数など、生徒が分からない時は、リモートでつながり、画面共有して生徒とやりとりしながら学ぶ様子が見られました。

コロナ感染症等の状況もまだあることから、今後も、ICT 機器の利点を活用しながら生徒の学びを進めるように工夫していきたいと思えます。



【リモートで指導を
受けている場面】